

## ■ 基本仕様

## 【情報提供用電子掲示板システムにて使用するソフトウェア】

## 1. ソフトウェア基本要件

## 1-1. 電子掲示板ソフトウェア

電子掲示板ソフトウェア（以下、本 SW とする）の構成は、①スケジュールおよびコンテンツ管理配信端末と②表示端末部から構成された SW とする。

ネットワーク上に接続された①の管理配信端末で登録した「お知らせ」、「案内」、「行事予定」などの情報をあらかじめ登録されている表示対象日ごとに抽出し、自動的に表示・非表示がコントロールできる SW とする。掲示画面（以下、表示スライドとする）のデザインおよび掲載スケジュール情報を設定できる機能を備えたインターフェースを有し、最大 30 台の表示装置に対して各種情報を任意の組み合わせで掲示可能な SW とする。

## 2. ソフトウェア詳細要件

## 2-1. 基本仕様

- (ア) 管理配信端末からローカルエリアネットワーク（以下 LAN）接続された表示端末へコンテンツを配信し、液晶ディスプレイなどの表示装置（以下、ディスプレイとする）でその配信された情報が表示可能であること。
- (イ) 文字入力や設定、コンテンツの入力など全ての操作は、配信管理システムがインストールされた 1 台の管理配信端末で Web ブラウザ（Internet Explorer）の操作によって行えること。
- (ウ) ログイン画面を有し、全権管理者・部門内管理者・利用者と権限に応じた操作画面を有し、ユーザー単位にパスワードによるユーザー権限の管理が可能であること。
- (エ) 利用者権限のユーザーは、他ユーザーが登録した情報の編集・削除できないこと。
- (オ) ログイン後のメインメニューのアイコンの配置をログイン部門毎に指定可能なこと。
- (カ) ディスプレイ（設置場所）毎に異なるコンテンツが表示可能であること。
- (キ) ディスプレイ（設置場所）毎に異なる表示解像度が指定可能であること。
- (ク) コンテンツは部門、グループ単位に管理され、ディスプレイに表示する内容をそれぞれ指定することが可能であること。
- (ケ) 通常のコンテンツ表示以外に割り込みでのコンテンツやテロップ表示が可能であること。
- (コ) 管理配信端末の表示解像度にあわせて、コンテンツデザイン画面の表示倍率の選択が可能であること。
- (サ) 管理配信端末の操作により、表示端末の電源制御や動作ログの取得が可能であること。
- (シ) 登録されている各種コンテンツデータを、期間を指定して一括で削除可能であること。

## 2-2. お知らせ表示機能

- (ア) お知らせ情報の入力専用テンプレートを有し、テキスト情報の登録作業のみで予め設定したデザイン画面に登録内容をコンテンツとして自動的に表示可能なこと。
- (イ) お知らせ情報として表示する「タイトル」、「内容」と、表示する期間（または無期限）・曜日・時間帯、「一時表示停止」が設定可能であること。
- (ウ) お知らせ情報ごとに指定した掲載期間・曜日・時間に基づき、実際の表示日時に該当するお知らせ情報だけを自動的に抽出してディスプレイに表示すること。
- (エ) 特定のお知らせを強調するために表示枠の背景色を個別に設定可能であること。
- (オ) 登録済みお知らせ情報のタイトルと登録情報ごとの表示設定（表示期間等）が一覧として確認可能であること。

と。

- (カ) 複数の登録済みお知らせ情報を一括で削除可能であること。
- (キ) お知らせ情報の表示順序を自由に変更可能であること。
- (ク) お知らせ表示画面 1 画面中のお知らせ情報件数が 1 件から最大 10 件まで設定可能であり、設定件数を超えたお知らせ情報は自動的に改ページ処理を行なって表示すること。
- (ケ) お知らせ表示画面として、お知らせ情報のほかに任意の文字や画像を配置するデザイン機能を有し、そのデザイン機能が 2-3 項「フリー情報機能」と同等であること。

## 2-3. フリー情報機能

- (ア) 表示スライドの背景として「色」または「画像」が指定可能であること。
- (イ) 背景の画像は位置を指定することが可能であること。かつ、特定の小さな画像を繰り返すことで背景画像として表示することが可能であること。
- (ウ) 表示スライドに配置できる部品（素材）は「文字」、「スクロール文字」、「画像」、「ホームページ」、「日時」、「動画」、「Flash 動画」、「画像フォルダ」が使用可能であること。
- (エ) 表示スライドデザイン画面に配置された部品はマウス操作で自由な位置、サイズに配置が可能であること。
- (オ) 表示スライドデザイン画面に配置された部品のコピー、貼り付け、削除、重なり順の変更がマウス操作での操作が可能であること。
- (カ) 「文字」部品として、任意の文字列が登録可能であること。また登録された文字に対し、「文字サイズ」、「フォント」、「文字色」、「背景色」、「文字方向（縦・横）」、「文字位置（左寄せ・右寄せ・中央）」、「囲み線」、「表示効果」、および表示スライドが表示されてからの文字列表示開始秒数が指定可能であること。
- (キ) 「画像」部品として、管理配信端末からファイルのアップロードまたはあらかじめ管理配信端末に登録済みの画像を選択可能であること。また、その画像の表示効果および表示スライドが表示されてからの画像の表示開始秒数を指定可であること。
- (ク) 「ホームページ」部品として、指定した URL を表示可能であること。（※表示端末からインターネット接続が可能な環境の場合） また、管理配信端末からアップロードした HTML ファイルおよび、あらかじめ管理配信端末に登録済みのファイルを選択し表示することが可能であること。
- (ケ) 「ホームページ」部品はその内容を上方向へスクロール表示が可能であり、さらに指定時間経過後に開始位置に戻ることが可能であること。
- (コ) 「日時」部品として次の形式で日付と時刻が表示可能であること。
  - 日付：表示無し、yyyy/mm/dd(w)、yy/mm、mm/dd(w)、yyyy 年 mm 月 dd 日(w)、yyyy 年 mm 月、mm 月 dd 日(w)
  - 時間：表示無し、hh:mm:ss、hh:mm、HH 時 MM 分 SS 秒、HH 時 MM 分
  - また、「文字」部品同様、文字色、文字サイズ、フォント、囲み線が指定可能であること。
- (サ) 「動画」部品として管理配信端末からファイルアップロードした MPEG4 形式の動画ファイルを表示可能であること。
- (シ) 「動画」部品データが表示終了したら、次の表示スライドへ自動的に切り替わる設定を有すること。
- (ス) 「FLASH」部品として管理配信端末からファイルアップロードした SWF 形式のファイルを表示可能であること。
- (セ) 「画像フォルダ」部品として、あらかじめ管理配信端末に登録したフォルダ内の全画像を指定した秒数・表示効果で連続再生が可能であること。
- (ソ) 「画像フォルダ」内の部品データが表示終了したら、次の表示スライドへ自動的に切り替わる設定を有すること。
- (タ) フリー情報等の「画像」、「動画」、「FLASH」、「画像フォルダ」の各部品素材ファイルのアップロード先フォルダが指定可能なこと。
- (チ) 複数の部品をマウスドラッグで一括選択し、選択された部品の配置調整が行えること。
  - 選択可能調整機能：左揃え、左右中央揃え、右揃え、上揃え、上下中央揃え、下揃え
- (ツ) フリー情報作成時、部品のマウスドラッグによる位置やサイズの変更をロック可能なこと。

- (テ) フリー情報作成時、部品の文字色やフォントなどの書式をログインユーザ毎に設定することができ、設定以降にその部品を追加した場合には設定された書式があらかじめ適用されること。
- (ト) 表示スライドごとに個別の音声ファイルを BGM として使用可能であること。
- (ナ) 表示スライドごとに「表示期間（または無期限）」、「表示曜日」、「表示時間帯」、「一時表示停止」、「画面切替時効果」、「効果音」、「表示秒数」が指定可能であること。
- (ニ) 表示スライドごとに指定した掲載期間・曜日・時間に基づき、実際の表示日時に該当するスライドだけを自動的に抽出してディスプレイに表示すること。
- (ヌ) プレビュー表示機能にて登録した表示スライドの表示内容が確認可能であること。
- (ネ) 作成したコンテンツをテンプレート登録することにより、同じようなスライドを複数作成する場合にコピー活用できること。
- (ノ) 登録済み表示スライドは、タイトルまたは縮小表示（サムネイル）で一覧表示可能であること。
- (ハ) 登録済みの複数の表示スライドを一括で削除可能であること。
- (ヒ) 登録済み表示スライドの表示順序を自由に変更可能であること。
- (フ) 登録済み表示スライドに対して、個別に編集のロックを行うことができること。

## 2-4. 施設予約表示機能

- (ア) 施設の予約管理機能を有し、登録された予約情報を基にして、「当日」・「今週」・「次週」・「今月」・「次月」・「当日から 7 日分」の中から選択した期間の利用スケジュールを自動的にディスプレイ表示すること。
- (イ) 施設の空き状況確認や予約登録など全ての操作は、管理配信端末の Web ブラウザ（Internet Explorer）を通じて行えること。
- (ウ) 各施設の利用スケジュールを「1 日」・「週間」・「月間」・「施設別月間」の各カレンダー表示により管理できること。
- (エ) 施設予約管理画面のカレンダー上の日付移動は、「前月」・「前週」・「今日」・「次週」・「次月」等のボタンによる切替えか、または日付の直接指定が可能なこと。
- (オ) 施設予約管理のカレンダー表示上において、確定スケジュールは「確」マーク、仮予約のスケジュールは「仮」マークが表示されること。
- (カ) 施設予約管理のカレンダー表示が「週間」表示の時は、予約時間も表示されること。
- (キ) 施設の予約時間とは別に、ディスプレイに表示する利用時間を設定可能なこと。また、利用時間をディスプレイに表示しない設定が可能なこと。
- (ク) 予約情報の入力項目は、日付、時間のほかに最大 10 項目まで自由に項目名を指定し利用できること。
- (ケ) 予約情報の各入力項目では入力候補リストのマスタ登録を可能とし、マウスによる選択入力にて作業の効率化が図れること。
- (コ) 複数の施設および指定した期間（毎日・毎週の特定曜日・毎月の特定期の日・毎月の特定期の特定曜日）あるいは任意の複数日に対して、同じ内容のスケジュールを一括で登録可能なこと。
- (サ) 複数の施設または複数日を一括登録したスケジュールの内容更新・削除が、特定の施設・日付のみか全て一括かを選択して行えること。
- (シ) 登録済みの施設スケジュールを複数の施設・期間へ複写可能なこと。また、複写したスケジュールも含めてスケジュールの修正・削除が一括で行えること。
- (ス) 休館日の登録が可能であり、休館日には予約登録が行えないこと。
- (セ) 登録済み予約情報は、項目、期間、施設を指定して CSV 形式でのファイル出力が可能なこと。
- (ソ) 各施設のスケジュール表示は、任意の施設の組み合わせでディスプレイに表示可能なこと。
- (タ) ディスプレイのスケジュール表示画面には、確定スケジュールのみ表示し、仮予約スケジュールは表示されないこと。また、確定スケジュールについても、ディスプレイへの表示・非表示が利用スケジュール個別に指定可能なこと。
- (チ) ディスプレイでの表示形式を「表タイプ」「帯タイプ（施設横軸）」「帯タイプ（施設縦軸）」のいずれかから選択できること。

- (ツ) 表示形式が「表タイプ」の場合、時間帯別表示設定可能なこと。
  - (例)「12:00～13:00 の時間帯は、13:00～17:00 に開催されるスケジュールを表示させる」など
- (テ) 表示形式が「表タイプ」の場合、利用時間が終了したスケジュールをディスプレイから自動的に消去する設定が可能であること。
- (ト) 表示形式が「表タイプ」の場合、同じ施設の予約情報の表示行が続く場合には施設名をまとめて表示可能であること。
- (ナ) 表示形式が「表タイプ」の場合、利用スケジュールが無い施設行も表示するか選択可能であること。
- (ニ) 表示形式が「表タイプ」の場合、表示項目は入力項目から最大 7 項目を自由に選択できること。また、表示設定として、画面背景、表示秒数、文字フォント、文字サイズ、文字色、表の背景色、1 画面あたりの表示件数が指定可能であること。
- (ヌ) 表示形式が「表タイプ」の場合、利用スケジュールを施設順・利用開始時間順など任意の項目でソートして表示可能なこと。
- (ネ) 利用スケジュール表示画面の罫線の線種・太さ・色を変更可能なこと。
- (ノ) スケジュール表示画面として利用スケジュールのほかに任意の文字や画像を配置するデザイン機能を有し、そのデザイン機能が 2-3 項「フリー情報機能」と同等であること。

## 2-5. 行灯表示機能

- (ア) 2-4 項「施設予約表示機能」の施設の予約管理機能によって登録した利用スケジュールを基にして、自動的に行灯表示が可能なこと。
- (イ) 施設の予約管理機能によって登録した項目（最大 7 項目）を任意に選択して行灯表示が可能なこと。また、各表示項目に対して、文字サイズ、文字色、フォント、横書・縦書、横位置（左寄せ・中央揃え・右寄せ）、縦位置（上寄せ・中央揃え・下寄せ）、強調有無が個別に指定可能なこと。
- (ウ) 利用スケジュールごとに、行灯の表示・非表示選択と、表示する場合には表示開始・表示終了時間の設定が可能なこと。
- (エ) 行灯表示時間が重複した場合に、掲示開始時間が先または後のどちらのスケジュールを表示するかの指定が可能なこと。
- (オ) 行灯表示画面として行灯内容のほかに任意の文字や画像を配置するデザイン機能を有し、そのデザイン機能が 2-3 項「フリー情報機能」と同等であること。

## 2-6. 割り込み表示機能

- (ア) 管理配信端末からの指示により、あらかじめ登録した「割り込み情報」を、選択した表示端末に対して随時表示の指定が可能であること。
- (イ) 管理配信端末からの割り込み解除指示により、通常の番組表示に戻る。
- (ウ) 「割り込み情報」の作成機能を有し、そのデザイン機能が 2-3 項「フリー情報機能」と同等であること。

## 2-7. テロップ表示機能

- (ア) 管理配信端末からの指示により、あらかじめ登録された「テロップ」文字情報を、選択した表示端末に対して表示可能なこと。
- (イ) テロップ表示の文字の大きさ・表示位置（上・下）・フォント・文字色・背景色・表示速度・効果音を、表示端末毎に個別設定可能なこと。
- (ウ) 管理配信端末で「テロップ」文字情報を複数登録することが可能であり、それぞれの表示順序を自由に設定可能であること。
- (エ) テロップ毎に表示する期間・曜日・時間帯が指定可能であり、配信後は表示対象のテロップだけが自動的に選択表示されること。

- (オ) テロップは 1 文字単位での文字装飾（太字・斜体・下線・取り消し線・点滅・文字色）が可能であること。
- (カ) テロップ毎に表示する表示端末を指定可能であること。
- (キ) 通常テロップの設定を変更することなく、一時的に割り込みテロップを表示指定可能であること。
- (ク) 表示端末毎または選択した複数の表示端末一括でのテロップの表示・割り込みテロップ・テロップ停止を指定可能であること。
- (ケ) 利用者権限でログインした場合には、そのユーザーが登録したテロップだけが表示・編集可能であること。
- (コ) 管理者権限でログインした場合には、テロップ毎に登録したユーザーを確認可能であること。

## 2-8. 配信機能

- (ア) 表示動作中の任意の表示端末に対して、管理配信端末から任意のタイミングで配信が可能であること。
- (イ) 手動での配信操作とは別に、1 日 1 回指定した時間に全表示端末に対して自動配信することが可能であること。
- (ウ) 自動配信時間に起動していない表示端末に対しては、その表示端末の次回起動時に自動配信されること。
- (エ) 複数の表示端末へ一斉配信を行なう際のネットワーク負荷を制限するために同時配信する表示端末数を設定することが可能であること。また、その同時配信台数で設定した台数より多い表示端末への配信も、1 回の配信操作で指定したすべての表示端末への配信が可能であること。
- (オ) 表示端末毎の配信状況を確認できること。（「転送待ち」→「転送中」→「転送終了」→「展開中」→「正常終了」）
- (カ) 各表示端末別に配信履歴を確認できること

## 2-9. 番組スケジュール機能

- (ア) 「お知らせ」や「フリー情報」、「施設予約」などのコンテンツの任意の組合せを「番組」として複数管理することができ、各番組内でコンテンツの表示順序、表示対象グループが自由に設定可能であること。
- (イ) 「番組」へ登録したコンテンツ毎にタイトルをつけることができること。
- (ウ) 「番組」内コンテンツの削除およびその番組内へコピーすることができること。
- (エ) コンテンツ単位に表示秒数、効果音（BGM）および画面切替え時の表示効果の設定が可能であること。
- (オ) 各コンテンツの効果音設定のほか「番組」に対しても効果音（BGM）が設定でき、表示スライドが切り替わっても番組効果音が途切れることなく再生可能であること。
- (カ) 「番組」に対してフリー情報の挟み込み表示機能を有し、コンテンツスライド 1 枚毎にフリー情報を挟み込む あるいは「番組」として表示するコンテンツが無い場合のみフリー情報を表示することが可能であること。
- (キ) 管理配信端末上でのプレビュー機能によって任意の日時における「番組」の確認が可能であること。
- (ク) 「番組表」として、日曜～土曜の各曜日別に任意の時間帯に表示する「番組」のスケジュール登録が可能であること。
- (ケ) 「番組表」として、日曜～土曜の各曜日別に任意の時間帯にディスプレイの自動入力切替えが登録できること。
- (コ) 特定の日付に対して個別の番組スケジュールを設定可能であること。
- (サ) 個別に設定するスケジュールの日時は現在の日付から最低 2 年以上先まで登録可能であること。
- (シ) 「番組表」ごとに表示対象とする表示端末を選択し、指定することが可能であること。
- (ス) 指定した日付の番組表の内容を一覧表示できること。

## 2-10. 電源管理機能

- (ア) 管理配信端末の操作により、表示端末個別に表示端末の電源 ON・電源 OFF・再起動が可能であること。
- (イ) 管理配信端末で設定した運用時間（番組表）に従って、表示端末が自動的に電源 ON または電源 OFF 可能であること。
- (ウ) 運用時間の指定は、基本スケジュールとして曜日単位で設定が可能であること。

- (エ) 各曜日の運用時間帯として、1 日あたり 2 つの時間帯が設定可能であること。
- (オ) 特定の日付に対して個別の運用時間設定が可能であること。（設定内容は基本スケジュールに準ずる。）
- (カ) 運用時間（番組表）の設定に関わらず、表示端末を自動的に電源 ON しない「非稼働日」が表示端末ごとに設定可能であること。

### 3. ハードウェア基本要件

#### 3-1. 表示用ディスプレイ

##### ■基本仕様

- (ア) 画面サイズ：55 型
- (イ) 表示画素数：1,920×1,080
- (ウ) 輝度：最大 500cd/m<sup>2</sup> 以上
- (エ) コントラスト：4,000:1
- (オ) 応答速度：6.5ms 以下
- (カ) 視野角：（左右）178° / （上下）178°

##### ■その他

- (ア) スタンド：可動脚付きであること（想定品：HAMILEX PH-B815）。
- (イ) 外付けスピーカーを取り付けること。
- (ウ) 表示用端末を準備すること。
  - ・表示用端末は表示用ディスプレイに装着するか、または設置スペースを考慮すること。
  - ・操作に必要な、キーボード・マウス・DVD ドライブ等は、不足なく添付すること。
  - ・配信管理端末との通信に必要なネットワークインタフェースを装備していること。
  - ・その他、システム動作に必要なものはすべて準備すること。
- (エ) 機器保守：表示用ディスプレイおよび表示用端末は 5 年間の出張修理を行うこと。

#### 3-2. 配信管理端末

##### ■基本仕様

- (ア) 筐体：ノート型
- (イ) CPU：インテル Core i3-6100U プロセッサ（2.30GHz）以上
- (ウ) メモリ：4GB 以上
- (エ) HDD：500GB 以上
- (オ) DVD：DVD スーパーマルチドライブ
- (カ) モニタ：15.6 型ワイド HD 液晶(1366×768 ドット) 以上
- (キ) OS：Microsoft®Windows®Windows10
- (ク) 通信環境：ギガビット（10/100/1000BASE-T）イーサネット アダプタ
- (ケ) キーボード：テンキー付きキーボード
- (コ) マウス：USB 光センサーマウス

##### ■その他

- (ア) Microsoft® Internet Explorer 11 をインストールすること。
- (イ) Office Home&Business 2016 をインストールすること。
- (ウ) クライアントバックアップ用ソフトをインストールすること。
- (エ) 再セットアップ媒体：添付すること。
- (オ) 機器保守：5 年間の出張修理を行うこと。
- (カ) 配信管理端末からの表示端末の電源管理ができること。

#### 4. 設置設定作業

##### 4-1. 機器設置

- (ア) 表示用ディスプレイおよび表示用端末、配信管理端末を指定された場所へ設置を行うこと。
- (イ) 表示用ディスプレイはスタンドに取り付けること。
- (ウ) スwitchング HUB を 1 階受付カウンタ用と 2 階事務所用に 2 つ準備すること。
- (エ) LAN ケーブルを、1 階受付カウンタ用 10m と 2 階事務所用 20m をそれぞれ 1 本ずつ準備すること。また 2 階事務所用については、OA フロアとなっているため、床下に配線を行うこと。
- (オ) 表示用ディスプレイ用に電源タップ（3m）を準備すること。
- (カ) 電源配線およびネットワーク配線は、景観に配慮すること。

##### 4-2. システム設定

- (ア) システム稼働までの各種設定（機器設定も含める）を行うこと。
- (イ) 各種設定は当市と打ち合わせを行った後に実施すること。
- (ウ) フォームおよびテンプレートを作成すること（3 枚程度）。
- (エ) 導入時に操作研修を実施すること。

##### 4-3. 運用保守

- (ア) 導入後 5 年間は、システムの操作方法や設定に関する問い合わせに対応すること。